

ホソバニガナ	<i>Ixeridium beauverdianum</i> (H.Lév.) Springate	絶滅危惧 I 類	
(環境省:絶滅危惧 I B類)		キク科	
選定理由	生育地が局限されているうえ、個体数が極めて少ない。	写真(国立科学博物館) 標本 	
形態の特徴	茎は高さ15-65cm。根出葉は開花時にもあり、線状披針形、長さ5-10cm、幅3-8mm。茎葉も線状披針形で数は少ない。茎と枝の先に1個の頭花をつける。頭花は小さくて、6個の黄色い舌状花からなる。		
生態的特徴	河原の砂礫地に生育する。花期は4-10月。		
分布状況	日本に固有で、本州の関東地方から九州に分布する。岐阜県では県南の北東部に見られる。		
減少要因	河川の改修によると考えられる。		
保全対策	生育地の保全。河川の改修を計画するときは、事前に注意深い調査をする必要がある。		
特記事項			
参考文献			

文責:高橋弘